#### 平成29年度木材利用優良施設の表彰式

平成29年7月31日

主催:木材利用推進中央協議会

後援:農林水産省

- 1 審査講評 審査委員長
- 2 賞状授与 ①農林水産大臣賞
  - ②林野庁長官賞
  - ③木材利用推進中央協議会会長賞
- 3 挨 拶 林野庁長官 受賞者代表
- 4 受賞施設 農林水産大臣賞 京都木材会館(京都府)
  - 林野庁長官賞 ① 訓子府町幼保連携型認定こども園「わくわく園」(北海道)

    - ② 羽黒高等学校 新校舎棟(山形県) ③ 池上線 戸越銀座駅(東京都品川区)

#### 木材利用推進中央協議会会長賞

- ① 特別養護老人ホーム すみた荘(岩手県) ② ねばねの里「なごみ」(長野県)
- ③ 五條市上野公園総合体育館「シダーアリーナ」(奈良県)
- ④ 福岡女子大学 図書館棟(福岡県)

#### 平成29年度木材利用優良施設受賞施設の概要

賞区分	施設名及び施主、設計者、施工者	施設の概要
農林水産大臣賞(1点)	京都木材会館 (京都府) 施主:京都木材協同組合 設計者:㈱ゆう建築設計事務所 施工者:吉村建設工業株式会社 (延べ床面積754.50㎡) 主要樹種:ヒノキ、スギ	全国で初めて2時間の耐火性能を持つ柱を使った木造4階建てのビル。 建物の内外装に京都産の木材を100%採用し、設計・施工も全て地元業者が手がけた。 スギの無垢板を相欠きにして組み上げた外装ルーバーは、室内に木漏れ日のようなやわらかい光を届けつつ、季節や天候によって角度を変えることにより風や光をゆるやかにコントロールすることが可能。 構造だけでなく、1階に「まちなかの森」をイメージしたギャラリーを設けるとともに、2階にあがる階段の段板(17段)はすべて異なる樹種の一枚板で構成するなど、内外装に様々な木の使い方を散りばめることで、会館を訪れる方がそれぞれの気に入る木を見つけてもらえることを目指している。 2階部分は事務所に、3,4階部分は共同住宅(賃貸)として利用。京町屋の特徴である風の通り道に配慮したレイアウトを施した住居には建設中から問合せ・申し込みが殺到し、完成後すぐに満室に。今でも見学に来た方から入居希望があるなど、市街地に出現した本格木造ビルへの関心は極めて高い。
林野庁長官賞(3点)	訓子府町幼保連携型認定こども園「わくわく園」 (北海道) 施主:訓子府町 設計者:㈱久米設計札幌支社 施工者:北成・久島・丸建設工事共同企業体 (延べ床面積1,902.06㎡) 主要樹種:カラマツ、トドマツ、ヒノキ、シラカバ	コスト低減を図るため、構造部材に町有林のカラマツ・トドマツを採用。林齢が比較的若く小径の材が主体のため、断面の小さな集成材を採用するとともに、単一化した部材を連結する簡易な構造とすることで、コスト低減と施工手間の削減を実現。併せて、中庭をグルリと囲むように配置された各部屋の天井は、一方向ラーメン構造を格子梁で繋ぐシンプルな構造とする一方、内装では柱や梁を極力露出させて、木の温かみを感じられる空間づくりを目指した。森林整備と木材利用のサイクル、地材地消への取組みの実例を見せることで、園児に木材・木製品に親しむ場を提供するとの基本コンセプトが随所に活かされたシンボリックな建物となっている。
林野庁長官賞	羽黒高等学校(新校舎棟) (山形県) 施主:学校法人羽黒学園 設計者:㈱日本設計 施工者:鶴岡建設㈱ (延べ床面積5,481.73㎡) 主要樹種:スギ、カラマツ	RC造の階段やトイレ(耐火構造物)を挟みこむことにより国内初の木造3階建て校舎を実現。横71.1m,幅24.6mの大型の木造施設の建設が可能となった。特に、欧米を中心に中高層のビルでの利用が急増しつつあるCLT部材を、1階のカフェテリアの天井と2階の床の兼用として使っており、木造ならではのユニークな施工が話題となっている。将来を担う高校生達の学び舎として、先輩達が植えて育てた学校林の50年生のスギやカラマツを集成材やCLT部材としてふんだんに使用。地域産の一般流通材でも工夫次第で、極めて大きな木造校舎を建設できることが実証されたことは、地域の住民や関係者、設計者や工務店・建設会社などに大きな自信と誇りを持たせることに繋がり、さらに学校創設直後に生徒が植えた学校林の木材を使用したことで、「木育」の観点からも高く評価される建物となっている。

賞区分	施設名及び施主、設計者、施工者	施 設 の 概 要
林野庁長官賞	池上線戸越銀座駅 (東京都) 施主:東京急行電鉄㈱ 設計者:㈱アトリエユニゾン 施工者:東急建設㈱ (延べ床面積約680㎡) 主要樹種:スギ、ヒノキ	古くから地域住民に親しまれてきた木造駅舎の雰囲気を継承しつつ、老朽化対策と利便性の向上を目的に、駅舎リニューアルを実施したもの。会社独自に『木になるリニューアル』と銘打って、地域住民とのコミュニケーションの場を工事の進捗状況に合わせて実施した。使用木材の原産地である東京都あきる野市への原木見学ツアーを開催して地域住民との交流や環境学習、駅構内で使用する木製ベンチを製作するワークショップの開催、工事の竣工に合わせた数々のイベントの実施など、多くの場面で駅舎建築工事とまち、木を繋ぐ工夫を重ね、新しい形の駅舎づくりを実現している。そのユニークで優しいデザインは、多くの利用者から好評を得るとともに、戸越銀座の風景を一段と懐かしく温かなものにしている。ここまでふんだんに木材を使った駅舎が実現できることは都会の駅舎ゆえに、高い波及効果が期待でき、地域住民にとって欠け替えのない貴重な財産として、将来にわたって存在感を発揮していくものと期待できる。木材のもつ優しさ、温かみ、柔らかさといった特徴を遺憾なく発揮した施設として大いに評価できる実証例となっている。
木材利用推進中央協議会会長賞(4点)	特別養護老人ホームすみた荘 (岩手県) 施主:社会福祉法人鳴瀬会 設計者:㈱久慈設計 施工者:日本国土開発㈱東北支店 (延べ床面積:本体棟:4,780.10㎡) (延べ床面積:ボイラー棟:226.00㎡) 主要樹種:スギ,カラマツ,アカマツ	旧施設の老朽化に伴い建て替えた特別養護老人ホーム。構造部材には地元産のスギ材が ふんだんに使われており、基幹産業が林業という町の特徴を端的に示す展示機能も持った施設となっている。施設の性格上、建物内部は、ぬくもりと温かさの感じられる開放的な空間となっており、利用者の評判も上々である。構造的には、地域交流ホール(最大スパン9.2m)及びデイサービスホール(同13.5m)には、「RH構法(大断面の柱・梁部材に空けた孔に異形鉄筋を挿入し、エポキシ樹脂を充填・硬化させることで接合部を剛接合化。)」を採用し、これにより、耐力壁や筋交いを必要としない大空間を実現している。また、この構法では、金物が露出しないため、火災時の接合部の耐力低下がないこと、結露による木材や金物の腐食も少ないことから、安全管理上もメリットがある。さらに、給湯や暖房用にチップボイラーを導入し、熱エネルギーの地産地消にも貢献している。建設途中には高校生をはじめ多くの見学者があり、次世代を担う木造技術者の育成にも寄与できたのではと期待される。町産材の柱(ケヤキ、スギ)4本をシンボル的な大黒柱として配置した地域交流ホールでは、多様なイベントが開催され、地域住民をはじめ、町民全体に安らぎと誇りを与えてくれる施設となっている。
木材利用推進中央協議会会長賞	ねばねの里「なごみ」(根羽村高齢者福祉施設) (長野県) 施主:根羽村 設計者:有限会社みすゞ設計 施工者:吉川・片桐特定建設工事共同企業体 (延べ床面積2,360.28㎡) 主要樹種:スギ、カラマツ、ヒノキ	高齢者福祉施設として、地元産の木をふんだん(83.1%)に使って建設。皮を剥いだ自然木を配置して、ふるさと根羽村の「自分の家」、「自分の地域」を感じてもらえるよう配慮。室内の作りも、中庭に面して部屋を設けたり、大きな吹き抜けや「越屋根システム」を採用して、採光や通風に細かな気遣いの設計となっている。特に、日差しの少ない北側居室には、中央廊下の吹き抜けからの光が、木の格子を通って部屋に差し込むように工夫されており、柔らかな自然光と木の格子のコラボレーションで明るく快適な住環境が実現されている。使用した木材は、根羽スギを中心に、ヒノキやカラマツを多用し、構造部材から造作材家具にいたるまで、村内産材を適材適所で存分に使用している。消防法上、準耐火建築物(メンブレン工法)の単調で無機質になりがちな点を、「燃えしろ設計」を駆使することによって、木材を現しにし、安全性にも配慮した温か味を感じる建築物を実現している。間伐材などの未利用材のバイオマスエネルギーを薪ボイラーの燃料として床暖房に使うなど地域内での資源の循環に努め「持続可能な村づくり」への転換を提案し、地域に愛され持続する「環境建築」を実践しました。

賞区分	施設名及び施主、設計者、施工者	施設の概要
木材利用推進中央協議会会長賞	施主:五條市 設計者:杉本洋文+(株)たかの建築事務所 +(株計画・環境建築 施工者:村本・田原特定建設工事共同企業体	基本コンセプトは、「地材地匠(ちざいちしょう)」。最大の特徴は、中大規模の公共建築物ながら、当該建物のために部材を用意したのでなく、一般住宅で使用される汎用材を使ってコストや手間を削減した点である。即ち、地域産のスギ材による中断面集成材を用いた木質ハイブリッドトラス架構(300~。梁せいの杉中断面構造用集成材木造トラスユニットに軽量鉄骨ブレースを配し中央と四隅にキール鉄骨を組み合わせた構造)を採用して、50mのスパンを有するアリーナ屋根(中断面構造用集成材の上弦材、下弦材を東材で接合し格子状に直交接合したフィーレディール(梯子状)骨組みを導入し、最低限の軽量鉄骨ブレースを配した変則木造トラス)を造り上げている。また、アリーナ屋根の下屋根の耐火構造材は、大断面湾曲集成材の表面に石膏ボードを貼るメンブレン型被覆を採用し、耐火性能をクリアしている。さらに上からを集成材を貼ることで内部の木質化をはかっている。緑豊かな環境や周辺の街並みと調和する外観となるよう設計上の配慮がなされている。素材として、奥大和で育ったスギやヒノキを、奈良の匠の力で他に例を見ない画期的なRC+鉄+木材による混構造建築物を完成させている。
木材利用推進中央協議会会長賞	施主:福岡県 設計者:久米設計・NKSアーキテクツ	県産のスギルーバーで覆われた天井と木製の書架・テーブル家具などをふんだんに配置して、木質素材に囲まれた温かみのある空間を創出。特に、1階の学習空間と2階の図書館を一体の空間として印象づけるため、波打つような天井を2層吹き抜けの大屋根で柔らかく包み込むユニークな構造とした。スギルーバーを通して、トップライトやハイサイドライトから光が漏れることで、木漏れ日の落ちる林の中に居るような空間を作り出すことに成功した。木の持つ柔らかな表情により、建物内での自然なコミュニテイが誘発される、人に優しい図書館となっている。

# 木材利用優良施設 受賞施設の概要

平成29年 7月31日

木材利用推進中央協議会

# 農林水產大臣賞





### 京都木材会館

(京都府)

施 主 京都木材協同組合 設計者 ㈱ ゆう建築設計事務所 施工者 吉村建設工業 ㈱



# 林野庁長官賞



訓子府町幼保連携型認定 こども園「わくわく園」

(北海道)

施 主 訓子府町 設計者 (株) 久米設計 札幌支社 施工者 北成·久島·丸建特定建設 工事共同企業体





# 林野庁長官賞



# 羽黒高等学校 新校舎棟 (山形県)

施 主 学校法人 羽黒学園 設計者 (株) 日本設計 施工者 鶴岡建設 (株)





# 林野庁長官賞



# 池上線 戸越銀座駅 (東京都品川区)

施 主 東京急行電鉄 (株) 設計者 (株) アトリエユニゾン 施工者 東急建設 (株)







# 特別養護老人ホーム おおた荘 (岩手県)

施 主 社会福祉法人 鳴瀬会 設計者 (株) 久慈設計 施工者 日本国土開発 (株) 東北支店







### ねばねの里「なごみ」

(長野県)

施 主 根羽村

設計者 예 みすゞ設計

施工者 吉川·片桐特定建設工事共同企業体









### 五條市上野公園総合体育館 (シダーアリーナ) (奈良県)

施 主 五條市

設計者 杉本洋文+㈱ たかの建築事務所

+㈱計画・環境建築

施工者 村本・田原特定建設工事共同企業体







(福岡県)

施 主福岡県

設計者 久米設計・NKSアーキテクツ・大設計

設計業務共同企業体

施工者 西松·上村·入江特定建設工事共同体



